

まち・ひと・しごと創生総合戦略（骨子）に対する意見一覧

No.	分野	委員によるご意見
1	人口ビジョン	(榮野委員) 人口動態などのデータ分析について、どの年代、どの地域が転出入しているかなど、枚方市の特性を出した方がよいように思う。
2	基本目標1：産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める	(森岡委員) 以前津田に住んでいたが、その当時は交通渋滞がひどく、通勤時間がかかっていた。今は当時に比べると交通渋滞も多少緩和されていると思うが、通勤に不便だと労働者は他市へ行ってしまう。そこをなんとかすれば効果があるのでは。
3	基本目標1：産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める	(田中委員) 京阪電車の開発により樟葉駅に賑わいが生まれたように、枚方市駅周辺の再整備を早急に実施し、効果的な人口増加施策に取り組む必要がある。
4	基本目標1：産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める	(田中委員) 枚方市は第二京阪が開通したにも関わらず、交通渋滞が相変わらずひどい状況だと思う。交通環境をより良くするとともに、第二京阪道路や幹線道路走行中に、枚方市に立ち寄ってほしいと思えるようなまちづくりを進めていく必要があるのではないかと考える。
5	基本目標3：市民の健康増進や地域医療の充実を図る	(森岡委員) いま枚方市に住んでいる人が高齢になったときの対応を考えていく必要がある。
6	総合戦略（骨子）全般	(田中委員) 5年という限定された期間の中で、限られた財源をより集中的にスピーディーに投下する必要があると考えるため、戦略に記載する項目を限定して、費用対効果の高い事業から実施していくべきだと思う。例えば、まずは開発が一定進んでいるエリアを重点的に5年間でやっていくなどの優先順位をつけるべきだと思う。
7	総合戦略（骨子）全般	(田中委員) 生駒市や箕面市、大阪狭山市など、住みよいまちと言われている自治体の事例を検討し、導入可能性を探るべきだと思う。
8	総合戦略（骨子）全般	(田中委員) 災害に強いまち、といった側面も総合戦略に記載するべきだと思う。
9	総合戦略（骨子）全般	(森岡委員) 東部地域の穂谷川など豊かな自然環境を活かした取り組みができれば集客効果があるのではないかと考える。

No.	分野	委員によるご意見
10	総合戦略（骨子）全般	<p>（森岡委員）</p> <p>枚方市には6つの大学があり、多くの大学生が通学しているので、学生たちに枚方のよい印象を持ってもらえれば将来住んでもらえるのではないかと。</p>
11	総合戦略（骨子）全般	<p>（森岡委員）</p> <p>男女平等という観点から、女性の地位をあげるだけでなく、男性が育児をしやすい環境を整えていくことも必要だと考えている。例えば、男性でも育児休業を気兼ねなく取得できる環境などが必要。</p>
12	総合戦略（骨子）全般	<p>（津本委員）</p> <p>基本的方向の数が多く、全て実施できるのか疑問に感じる。予算的に実行可能な内容になっているのか。書かれている中から優先すべき施策など絞ったほうがよいのではないかと。また、国の補助がつく事業などについては、優先的に実施していくべきではないかと。</p>
13	総合戦略（骨子）全般	<p>（津本委員）</p> <p>枚方市を生涯住み続けたいまち、魅力あるまちにするにはうわべだけでなく、官民が一体となって基本目標の各施策について真剣に考え、実現可能な画期的な方策を考える必要があると思われる。</p>
14	総合戦略（骨子）全般	<p>（榮野委員）</p> <p>人を呼び込む・魅力づくりという積極戦略に加えて、人口減少・超高齢社会への対応としての調整戦略もバランスよく盛り込んだ方がよいと思う。</p>
15	総合戦略（骨子）全般	<p>（榮野委員）</p> <p>施策については、市民参加や広域連携など、独自性や先進性を意識して取りまとめるとよいと思う。</p>

＜総合戦略における具体的な取り組みに関する意見＞

No.	分野	委員によるご意見
16	基本目標 1：産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める	<p>(津本委員)</p> <p>独居高齢者向けのリバースモーゲージによる融資制度がある。リバースモーゲージによる融資とは、独居高齢者が持ち家を担保として利便性の高い駅前の高齢者専用マンション購入や老人ホーム入居の費用のほか、持ち家を子育て世帯に貸すためにリノベーションする費用（くずはローズタウンの場合は国土交通省の「住宅団地型既存住宅流通モデル事業」により国からの補助あり）などを融資し、契約者が死亡したときに所有不動産を売却することで融資を一括返済するものである。このスキームにおいて市は、転入してくる子育て世帯への引越し費用補助やリノベーションに要する費用の補助などを実施することで、シナジー効果が見込める。</p>
17	基本目標 1：産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める	<p>(津本委員)</p> <p>創業した際に祝い金をお渡しする取り組みは、創業支援の方策として有効と考える。</p>
18	総合戦略（骨子）全般	<p>(森岡委員)</p> <p>待機児童問題が発生しているため保育所に預けることができず、出産を諦める女性が多いと感じている。また、晩婚化が進んでおり、子どもを産む数が減っている、あるいはそもそも結婚しないという選択をする女性も増えてきている状況がある。その原因の一つとして、男女ともに出会いの場がないこともあり、私が勤務する会社では婚活の取り組みを実施している。枚方市としても何かできることはないか。例えば、枚方市に在住の男性と他府県の女性を仲介するなどすれば転入増につながるのでは。その際に天の川などの地域資源を有効活用することができるのではないか。</p>
19	総合戦略（骨子）全般	<p>(津本委員)</p> <p>過疎地域と比べると、枚方市は人口減少に対する逼迫感が感じられない。例えば、空き家になる前段階で、関係機関に情報提供するなど、事前の対策を講じることを検討すべきと考える。</p>
20	総合戦略（骨子）全般	<p>(田中委員)</p> <p>枚方市が、土地区画整理事業において交野市との連携を強化し（茄子作南地区、星田北地区）、積極的に関与することにより、南部地域の生活利便性向上と人口増加を図ってはどうか。</p>
21	総合戦略（骨子）全般	<p>(田中委員)</p> <p>地元のスポーツチームを地域で応援するというのも一つの地域活性化策ではないかと考えている。枚方市には、FCティアモというサッカーチームがあり、関西リーグ1部で活躍している。彼らのスポンサーになりたいという企業も多く、自治体ぐるみでJリーグ昇格まで支援するなど、わが町のプロスポーツチームを育てることで、まちの魅力向上につなげていくことも考えられるのではないか。</p>